須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和２年度学園だより

# 稲雲（とううん）　第９号

令和２年７月２８日発行　　発行者：校長 小貫　崇明

## ○2学期は8月19日(水)からです～新型コロナに負けない夏休みを～

今年の夏休みは、８月１日（土）～８月18日（火）の18日間となっています。新型コロナの影響で、例年の約半分しかありませんが、第８号でもお伝えしたとおり一番の心配は、児童生徒の皆さんが心も体も緩めすぎてしまうことです。新型コロナウイルスから体を守るためにも、常に健康に気をつけて、適度な睡眠時間や食事、運動を心がけた生活を、家族とともに続けていきましょう。

そして、１年生から９年生までの２６６名が、８月１９日（水）に全員元気に登校することを期待しています！！

なお、今年度は８月１１日（火）より１４日（金）、市内の学校はすべて閉庁となります。

## ○絵画コンクールでの入選が続いています

７月は、児童生徒の作品が絵画コンクールにおいて多くの入選を果たしました。

まず、第１９回牡丹絵画展では、本校９年生の●●●●●さんが須賀川市教育長賞を受賞しました。また、同じく９年生の●●●●さんと●●●●さんも佳作に入選しました。

さらに、須賀川信金主催の「東北・夢の桜街道運動」絵画コンクールでは、６年生の●●●さんの作品が最高賞である「理事長賞」を、４年生の●●●●さんが優秀賞を受賞しました。新型コロナの影響で、多くの作品展やコンクールが中止されてきた中、稲田学園の児童生徒の作品がたくさん入賞することは本当に素晴らしいことです。

（写真左が●●さんの作品、右が●●さんの作品です）

## ○稲田地域ジュニアボランティア養成講座

７月２１日（火）、新型コロナウイルス感染症予防のため延期となっていた稲田地域ジュニアボランティア養成講座の開講式が稲田学園で行われました。ボランティアに関心がある７～９年生の２０名が、１１月まで全７回にわたり活動していきます。様々な体験や福祉活動をとおして、奉仕の精神をさらに高めてほしいと思います。

## ○夏休み後の準備は着々と…支部駅伝大会と新人戦にむけて

### 仲間とともに襷（たすき）をつなぐチームワークづくり

７月２日（木）から始まった朝の特設駅伝部練習は、初日から日を追うごとに人数が増え、現在３０名にも迫る勢いです。長引く梅雨で校庭での練習ができない日が多いのですが、雨が降っていない日には、広くなった校庭を元気に走るメンバーの元気な姿を見ることができます。苦しい顔で走る仲間に「頑張れ！」と応援する声が校庭に響いています。地域の方の「子どもの走る姿だけで感動するね。」という言葉に、地域の皆さんの「稲田愛」を感じます。地区駅伝大会は、８月２７日（木）開催の予定です。

### 新人戦での勝利を目指す新チームが始動！

各運動部においては、８年生を中心とした新チームが結成され、９月２４日（木）～２５日（金）の開催が予定されている新人総合大会に向け、練習が始まっています。

左の写真は、稲田学園のグラウンドに集まった野球部４校連合（須三中、仁井田中、岩瀬中、本校）の合同練習です。４校が集まって練習することでとても活気があり、練習の初めから終わりまで大きな声がグラウンドに響いていました。

### 新応援団の練習も始まっています

７年生の新団員を加え、応援団の新体制がスタートしました。８、９年生の団員が模範演武をしながら、７年生に動きや声出しなど優しくていねいに指導しています。新型コロナウイルス感染症予防のために結成を遅らせていた新応援団は、夏休み明けの中体連支部駅伝大会の壮行会でお披露目されます。最高のパフォーマンスを期待しています！

### ※６年生、９年生の修学旅行について

７月末現在、関東・関西ともに新型コロナウイルス感染者が増加しています。学校では、児童生徒の安全・安心を最優先に考え、保護者の皆様よりご意見をいただきながら、修学旅行の旅行先を６年生は宮城方面、９年生も岩手・宮城方面へ変更することを検討しています。

### ★ことばのちから(9)　「夏休み　旅してみよう　本の森」

本を読むことは、よく旅に例えられます。「かわいい子には旅をさせろ」と言われますが、実際の旅行だけでなく、子どもたちにはたくさんの本の世界を旅してほしいと思っています。教科書のように、みんなで同じストーリーを同じスピードで読むのではなく、自分のスピードで、図鑑だって、ドラマの原作だって、歴史ものや恋愛もの、ミステリーや科学、エッセーだっていいのです。ありとあらゆる分野が、子どもたちを知の旅へと誘います。今年は短い夏休みですが、ゲームやテレビ、SNS や Youtube だけの夏休みにならないことを願っています。